

令和元年度 学校評価について

(朝来市立梁瀬小学校)学校

4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

	評価の観点	回答者数(%)表示				今後の改善について	自己評価の妥当性(学校関係者評価の意見等)	
		4	3	2	1			
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	35%	66%	0%	0%	・学校だより・学級通信・HP等々様々な媒体を通じて取組を進めてきた。良いことだけではなく、気を付けていきたいこともしっかり発信していきたい。 ・多くの地域の協力(講師・見守り・PTA)を得ることができた。今後さらに、保護者や地域住民の教育活動への参画を促したい。	・オープンスクールなどは毎回たくさんの方が来ているが、地域の人(子どもが通っていない)にも来校できるようにアピールしてほしい。 ・区長会にも話をして、来てもらえるように働きかけを行う。 ・声をかけてもらえないと、なかなか学校に来にくい面もあるので、引き続き声かけをしてほしい。
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進						
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	21%	71%	7%	0%	・指導する人によって、指導内容が違わないよう共通理解をさらに図る。 ・高学年への指導は、全職員で取り組み、学サボも含め、誰の指導でも間く子育てる。 ・「全職員で危機感をもってかわっていかない」という指導体制を引き続き、つくる。	・子どもとのつながりが少なくなってきた、こちらからも声をかけにくい時世だけれども、地域の中では、よく挨拶してくれる。で、お、中学生の方がよく挨拶をする。小学校に来たときは、今日もそうだが、よく挨拶してくれる。 ・地域の中でも、どの子どもさんか、分からない。大人の問題でもあるが、家庭と地域とが連携して指導体制を整えていく必要がある。諏訪地区では、3世代交流行事をもって、地域の活性化を図っている。
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫						
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	43%	57%	0%	0%		
進路指導(中)	進路選択能力の育成							
危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	8%	80%	12%	0%	・安全点検をしていない月がないよう、毎月確実に実施、点検、補修を行う。 ・地域社会との連携はなかなか大変だが、地域を巻き込んだ一斉訓練が今後の課題である。	・引き渡し訓練は年に1回、行っている。私も参加したが、訓練をすることは大切である。訓練の回数を増やすことも検討してほしい。 ・薬物の話題が最近マスコミにぎわわしているが、小学生の時からその怖さをしっかりと教えてあげてほしい。情報についても怖い事件が大阪であった。但馬でもないとは言えないので、ルールを決めて使うとの大切さや利便性の裏にある危険性についても教えてあげてほしい。	
	地域課題に応じた防災、防犯教育の実施							
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	指導内容の工夫改善	27%	73%	0%	0%	・主体的・対話的で深い学びに向けた具体的な授業づくを取り入れた研修が行われた。さらにICTを取り入れた授業改善を行っていく。 ・「誰もが授業に参加できるように」という視点を持ち、UDの研修を進めることができた。	・ろうかの掲示物で教室の中が見えにくかった。参観日の時は、はずした方がよいと思う。 ・もっと、オープンスクールの日を増やしてほしい。 ・音楽室(構造上問題だからどうしようもないが)は教室に入りにくいかった。
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	31%	69%	0%	0%	・「誰もが授業に参加できるように」という視点を持ち、UDの研修を進めることができた。	
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	48%	52%	0%	0%	・「道徳的価値を自分とのかかわりにおいてとらえる(自覚を促す)道徳」という視点に立ち、全クラスが、地域・保護者に公開授(参観授業)を行うことができた。来年度も実施していく。	
	外国語教育(小)	授業研究の充実と指導の工夫	17%	75%	8%	0%		
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	9%	82%	9%	0%		
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	37%	60%	33%	0%	・学習指導要領の実施に伴い、今の状況社会状況を踏まえた課題に対応するために、次年度は改めて研修を行う。	・人権教育は、大切である。道徳教育と共に指導してほしい。今は、道徳のウエイトが大きくなっているのだろうか。 ・いじめ、人間関係等々、小学生から難しい環境になっていると感じる。お互いがお互いに尊重するような子どもを育ててほしい。
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	43%	53%	4%	0%	・体験活動において、実施方法の工夫改善、事前・事後の指導等々、今一度原点に立ち返って考える必要がある。	
	キャリア教育	社会的自立に必要な態度や能力の育成	8%	84%	8%	0%	・自立する人づくりのために、児童が夢や希望に向かって、成功や失敗を重ねながらたくましく成長できるよう、今後も取組を進めていく。 ・キャリアアノートの活用についてさらに研修を深めてい	
特別支援教育	校内の指導体制、個に応じた指導	34%	59%	7%	0%	・特別支援教育について自身も研修を深めたい。同時に来年度は、全体での研修もさらに充実したものにしていく。	・パラリンピックもあるので、授業に教材として使えないか検討してほしい。見るだけでもハンディキャップがある人への思いが変わると思う。	
あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	9%	82%	9%	0%	・あさごドリームアップ事業の趣旨をさらに地域に浸透させて、ふるさとの豊かな自然や伝統・文化、そこに暮らしている人々との触れ合いを通じ、朝来(山東)の良さを知り、それを発信し、次代へと伝えていける教育の推進を一層図る。	・さらに踏み込んだふるさと学(教育)を進めてほしい。地域の人に多く参加してもらって、視野を広げてほしい。 ・扇子踊りは一つではなく、いくつかあって、そのうちの一つを踊っているということも知ってほしい。	
その他	特別活動(縦割り班活動における異年齢集団での取組)					・年間を通して活動ができていた。 ・本年度大型連休に伴う授業時間確保のため縦割り遠足ができたので、来年度は実施したい。 ・児童数減少のため、班の数等も検討すべきである。	・毎年行われている「梁小フェスティバル」では、6年生が1年生のことを考えてあげながら競技を行う姿が見ていて嬉しい気持ちになる。 ・昔は当たり前で違う学年の子と遊んでいたが、今はそれがない。学校で違う学年と活動することを取り入れてもらっていることは、有意義だと思う。	

* 学校関係者評価の意見は文章表現でお願いします。